



報道関係各位

2024年1月吉日

## ご取材のご案内

# 鶴見区災害医療訓練の開催

【日時】 2024年2月4日(日) 8:30~12:45(8:00 受付開始)

【会場】 済生会横浜市東部病院

拝啓 ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

社会福祉法人 恩賜財団 神奈川県済生会横浜市東部病院(神奈川県横浜市鶴見区、以下、当院)は、「東京湾北部を震源とするマグニチュード7.3の首都直下型・区内最大震度6強の地震発生」を想定した、鶴見区災害医療訓練を2024年2月4日(日)に開催致します。主催は当院で、鶴見区災害医療連絡会議(鶴見区医師会・鶴見区歯科医師会・鶴見薬剤師会・汐田総合病院・佐々木病院・平和病院・横浜在宅看護協議会・鶴見大学・鶴見警察署・鶴見消防署・鶴見区社会福祉協議会・鶴見区役所)や下末吉地区自治連合会、横浜市医師会聖灯看護専門学校ほか、協力・関係機関とともに、当日は1つのシナリオをもとに同時並行で複数の会場で訓練が行われ、市内でも類を見ない規模となっております。

近年、日本各地で大規模な自然災害が起きており、元旦に発生した令和6年能登半島地震など震度6弱以上の地震が多発しております。また、相次ぐ異常気象で甚大な被害をもたらす災害も増えています。

自然災害では地域の医療拠点となる病院そのものが被災する場合もあり、医療設備が機能しなくなる可能性もあります。こうした状況のなか、災害医療拠点病院をはじめとする地域の医療機関及び関係団体との連携が今後ますます必要不可欠となっていきます。

横浜市鶴見区における災害医療訓練は、県の災害拠点病院に指定されている当院が2007年から行ってきた院内の訓練が元となっており、周囲の関係機関に協力を依頼しながら、様々な機関・団体の多くの方々と共に災害時の動きや連携を実践してきました。そしてこの度、4年ぶりに実施することとなりました。

ご多忙中とは存じますが、ぜひともご取材を賜りたく、ご案内申し上げます。

敬具

<本件についてのお問い合わせ先>

済生会横浜市東部病院 広報推進室 担当:波多野・荒木

TEL:045-576-3000 E-mail:koho@tobu.saiseikai.or.jp



## 【開催概要】

### ■タイトル

鶴見区災害医療訓練 ～地域連携で首都直下型地震に備える～

### ■日時

2024年2月4日(日) 8:30～12:45(8:00 受付開始)

### ■会場

済生会横浜市東部病院

### ■進行(予定)

8:10 開場(済生会横浜市東部病院 3階多目的ホール)  
8:30～8:50 開会式  
9:00～9:45 エリア別打ち合わせ等  
10:00～11:45 実動訓練  
12:25～12:45 閉会式

### ■想定

2024年2月4日(平日想定)午前9時、東京湾北部で震度7の地震発生。横浜市東部も震度6強の震度を観測。

区内に多数の医療対応が必要な負傷者が発生。一部の医療機関に倒壊の恐れあり。院内では平日日勤体制で職員が勤務し、外来及び手術室も通常通り運用中。尚、ハイブリッド ER に関しては工事中の為、運用していない。また、透析室/内視鏡室についても連絡のみ対応可。

院長代行は、災害対策本部を設置し、院内の被害報告書の提出を全部署に指示した。また新型コロナウイルス感染症は市内でも感染を確認。当院でも中等症感染者が入院している。

※済生会横浜市東部病院被害想定:電気は自家発電装置に切り替え。ガス、水道は使用可能。エレベーター、電子カルテは使用不可。

### ■主な訓練内容

- \* 災害対策本部立ち上げ、院内外の被災状況把握
- \* 多数傷病者の受け入れ、トリアージ
- \* EMIS(広域災害救急医療情報システム)入力、閲覧  
(能登半島地震の影響により実際に EMIS へ入力する事は行いません。)
- \* 衛星電話、MCA 無線による通信  
(近隣医療機関、区役所等を想定し、当院内にて受発信を行います。)
- \* 新興感染症の発生等を想定した訓練



## ■メディア立ち入り禁止エリア

\* 1階救命救急センター

\* 4～10階＝手術室及び病棟（患者さんがいる為）

## ■アクセス

社会福祉法人 恩賜財団 神奈川県済生会横浜市東部病院

〒230-8765 神奈川県横浜市鶴見区下末吉 3-6-1



### <交通のご案内>

#### ■車の場合

東京方面から: 首都高速道路「浜川崎 IC」または「汐入 IC」出口をご利用ください。

横浜方面から: 「岸谷生麦 IC」または「子安 IC」出口をご利用ください。

※上記 IC いずれからでも当院まで約 15 分。「新鶴見橋西側」交差点をお入りください。

## ■主催

済生会横浜市東部病院

## ■協力

鶴見区災害医療連絡会議（鶴見区医師会・鶴見区歯科医師会・鶴見薬剤師会・汐田総合病院・佐々木病院・平和病院・横浜在宅看護協議会・鶴見大学・鶴見警察署・鶴見消防署・鶴見区社会福祉協議会・鶴見区役所）、下末吉地区自治連合会、横浜市医師会聖灯看護専門学校、DMAT（済生会横浜市南部病院） 他

## 【済生会横浜市東部病院について】



当院は平成 19 年 3 月 30 日に開院しました。横浜市東部地域の中核病院として「医療を通じて生命(いのち)を守る」という理念のもと、常に一歩先の急性期医療の提供を目指し、国が示す 5 疾病・5 事業の推進、並びに近隣の病院、診療所及び介護・福祉施設との連携体制の強化による、地域完結型医療の構築に努めております。救命救急センターを併設し、小児科救急、精神科救急を含む救急医療に積極的に取り組み、災害時には災害拠点病院としての機能を果たします。がん、心疾患、脳血管疾患等に対する高度専門医療についても、最新鋭の医療機器を導入するなど一層充実させてまいります。また、現場を離れている潜在看護師の復職支援など地域貢献にも積極的に取り組んでおります<sup>1</sup>。

1 出典: 神奈川県済生会横浜市東部病院 (<https://skanagawa-saiseikai.jp/facility/10.html>)



## 【ご取材のお申込みについて】

取材をご希望される場合は、別紙に必要事項を記入の上、2月2日(金)16時まで、済生会横浜市東部病院 広報推進室 波多野・荒木宛に、メール([koho@tobu.saiseikai.or.jp](mailto:koho@tobu.saiseikai.or.jp))にてご送付ください。